

令和2年度の重点課題

○5年生男子は、未実施の上体起こし、シャトルラン以外の種目は県平均を上回った。
 ○5年生女子は、握力、立ち幅跳びが本校目標（令和元年度県平均を上回る）に到達していない。
 ○全校としての傾向は、握力（到達50%）、50m走（同75%）、立ち幅跳び（同83%）で、県平均に到達していない学年が多い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○握力向上のため、全学級にハンドグリップを数個ずつ配付し、朝や帰りの会などで握力体操（30秒間手を握る開くを繰り返す）に取り組む。
 ○50m走向上のため、業間マラソンに取り組む。
 ○立ち幅跳び向上のため、体育館にビニルテープで県平均値の位置に印を付け、体育館での体育授業の際のサーキットトレーニングにおいて、印を目指してとぶ運動に取り組ませる。

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.80	22.80	36.35	43.30	47.40	9.97	137.90	20.90	58.70	第5学年	15.67	17.80	37.70	40.30	34.10	10.33	131.00	14.40	52.30

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.80	22.80	36.35	43.30	47.40	9.97	137.90	20.90	58.70	第5学年	15.67	17.80	37.70	40.30	34.10	10.33	131.00	14.40	52.30

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	70.0	30.0	0.0	0.0	第5学年	40.00	40.00	20.00	0.00

学校独自の意識調査

--

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

体育科授業において、準備運動として継続的にサーキットトレーニングに取り組ませる。
 ・運動場→平行棒、登り棒、半円遊具、雲梯、鉄棒
 ・体育館→ラダー、立ち幅跳び（県平均を示す）、ボール投げ、手押し車

夏季休業中に、職員研修を行い、校内で取組を統一する。

体育の授業以外で行う取組内容

大休憩に業間マラソンに取り組ませる。

各教室にハンドグリップを常時設置し、朝や帰りの会などに握力体操を行わせる。

第2回体力テスト実施を児童に伝え、目標数値を設定し、継続的に体力向上の意識を継続させる。

重点課題

- 男子
 - ・体力面では、50m走、立ち幅跳び、ボール投げが、昨年度4学年時の数値を下回る結果となっている。脚力と投力の向上が課題である
 - ・情意面では、概ねスポーツをすることを好む傾向にあるため、目標数値を自ら設定させ、2学期中に継続的に多力向上に取り組ませる。
- 女子
 - ・体力面では、殆どの種目で県平均を下回っている。日常的な体力向上の取組が必要である。
 - ・情意面では、スポーツをすることを好む傾向が高くない状態

令和4年度の重点目標値

○体力テストの目標数値を児童自身に設定させ、数値目標を達成する取組を通して、スポーツをすることがきらい、ややきらいと答える児童の割合を10%向上させる。

○「50m走」、「握力」、「立ち幅跳び」の数値を県平均以上にさせる。